

## 中央大学特定課題研究費 一研究報告書一

所属	総合政策学部	身分	教授
氏名	服部龍二		
NAME	Ryuji Hattori		

## 1. 研究課題

（和文） 現代日本の対外関係における文化的要素

（英文） Cultural factors in Japanese contemporary foreign relations

## 2. 研究期間

1年間（ 2019 年度）

## 3. 研究の概要（背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600字程度、英文 50word 程度）

（和文）

今日の国際関係では、対外政策のアクターと対象が多様化しつつあり、従来のように政府や国際機関の動向をフォローするだけでは、全体像の解明が難しいという状況になっている。内閣府や経済産業省、クールジャパン機構なども、ソフトコンテンツ、ファッション、和食、インバウンドなどを軸にいわゆるクールジャパンを推進しており、文化的要素は政策面からの課題ともなっている。にもかかわらず、従来の研究は外交や安全保障、経済政策など、いわば20世紀型の分析手法を大枠では踏襲しており、近年の動向に追いついていないのが現状であろう。このような前提を踏まえて、本研究では、対外関係における文化的要素を多角的に注目する。ここでいう文化的要素とは、上記のほかにも、伝統的な文学、芸術などを含むものである。また、本研究は、科学研究費助成金基盤（C）として採択された「冷戦後日本の外交と安全保障——小泉政権期まで」を文化面から補足、拡充するものであり、2つの研究を組み合わせることにより、相乗効果もたらされる。具体的な成果としては、拙著『外交を記録し、公開する——なぜ公文書管理が重要なのか』（東京大学出版会、2020年）、Ryuji Hattori, translated by Graham Leonard, *Eisaku Sato, Japanese Prime Minister, 1964-72: Okinawa, Foreign Relations, Domestic Politics and the Nobel Prize* (London: Routledge, 2020, forthcoming)がある。

（英文）

Ryuji Hattori, *Diplomatic Records and Their Declassification: Why Archives Management Is Important* (Tokyo: Tokyo University Press, 2020)

Ryuji Hattori, translated by Graham Leonard, *Eisaku Sato, Japanese Prime Minister, 1964-72: Okinawa, Foreign Relations, Domestic Politics and the Nobel Prize* (London: Routledge, 2020, forthcoming)